

自然分娩のススメ

分娩は監視すれども牽引せず

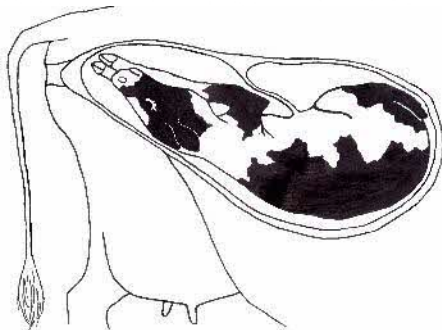
STOP

肢が出てすぐに引っ張ると 産道に傷がつき 産後の回復に影響します

正常な分娩とは・・・

①分娩Ⅰ期（開口期）陣痛が始まり、胎子の一部が産道の一部に入るまで

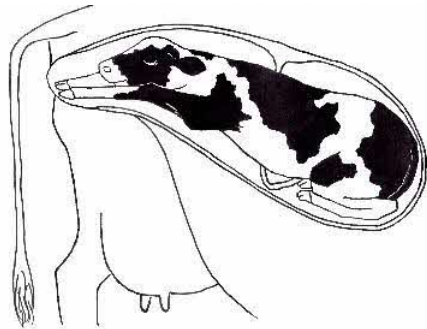
胎子が産まれる
体勢を整えている
時期です



※ 獣医師の診断を仰ぎましょう

②分娩Ⅱ期（産出期）第一次破水をして肢が見えてくる。その後、胎子娩出の途中で自然に破水（第二次破水）し産まれるまで

肢が見えてからは
分娩が進んでいるか
を確認します



第二次破水は産道を
潤滑にします

分娩状況と繁殖成績の関係(抜粋)

無介助分娩率	94.4%	67.9%
空胎日数	106±39	129±60

(根釧農試2008)

③分娩Ⅲ期（後産期）
分娩してから後産が出るまで
(通常6時間以内)

後産の排出が長引くと
その後の繁殖成績にも影響します
早めに獣医師の受診を！



参考：後産を食べるのは
草食動物としての本能です

分娩房のススメ

敷料たっぷり



乾燥と清潔

十分な広さ
(目安：2間×2間/頭)



分娩直後の子牛管理

① 気道の確保

口や鼻まわりの粘膜や羊水を取り除き、自発呼吸を確認する
例：タオルで拭く、寝わらを鼻にいれてくしゃみさせる

② ヘその緒の処理

希ヨードチンキ（ヨウ素3%）で
どぶ漬け消毒する

※ ディッピング剤は
濃度不足なので使わない

臍帯炎予防には、
ヘその緒の正しい
消毒と清潔な環境が
効果的です



③ 子牛を乾かす、リッキング（母牛に子牛をなめさせる）

メリット

- 体が乾き、急激な体温低下が防げる
- 血流が良くなり代謝があがる
- 初乳の吸収が良くなる

清潔な場所で行わないと
雑菌に感染してしまうので注意！

④ 清潔な場所へ移動し※ 初乳を給与する

（※ H27年のリーフレットを参照）

